

チェルノブイリ通信

<https://www.cher9.org/>

NPO法人
チェルノブイリ医療支援ネットワーク
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-11-5F
TEL/FAX : 092-260-3989
E-mail : jimmu@cher9.org



チェルノブイリ医療支援ネットワーク (CMN) は、チェルノブイリ原発事故で被災した人々のために、現地から求められる医療支援を行います。この活動を通して、日本とベラルーシの人びとの心と心のつながりを深めます。

No.
128

特集 木村真三先生によるオンライン講演会

CONTENTS

はじめてのほうしゃせん / プレスト内分泌診療所移動検診チームの様子 /
ウクライナ・ジャーナリスト報告会に参加しました。 /
事務局インターンのご紹介 / 古本募金きしゃぼんのご紹介とお礼 /
シンカブルのご紹介 / お知らせ / 支援者のお名前とメッセージ



プレストで出会った女の子 (2018年9月)
インタビューに協力していただいた甲状腺がん手術を受けた女性のお子さんです。

あなたもチェルノブイリを支える一人になっていただけませんか?
ご寄付を受け付けています。

本紙はチェルノブイリ医療支援ネットワークの活動を
支援して下さっている皆さまへお届けしています。
送付がご不要な場合は事務局までご連絡ください。

また団体ウェブサイトでもPDFファイルにてご覧いただけます。
<https://cher9.org/information/news/>

郵便振替口座 01770-1-65328
他の金融機関からは 一七九支店 (当) 65328
楽天銀行 ジャズ支店 (支店番号201) (普) 7017104
住信SBIネット銀行 法人第一支店 (支店番号106) (普) 1030416
※口座名はいずれも「NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク」

はじめてのほうしゃせん

今夏もグリーンコープ生活協同組合主催の木村真三先生のオンライン講演会が10府県の生協で開催されました。

今号ではグリーンコープくまもと東・西地域の方々を対象とした講演会と質疑応答の内容を抜粋し、ご報告いたします。

主催：グリーンコープ生活協同組合くまもと東、グリーンコープ生活協同組合くまもと西地域

みんなのからだを
まもるために
オレたち放射線生物質のこ
べんきょうしてくん。



■放射性物質はどうして飛んできたの？

今から11年前の2011年3月11日に、宮城県、福島県、岩手県を中心に東北地方でとても大きな地震が起きました。大きな津波が発生し、一番高いところでは30mを超えたと言われています。たくさんの方が波にのまれ、多くの方が亡くなりました。助かった人たちも多くのものを失いました。

放射性物質はどうやって飛んできたのか。東日本大震災のときに原子力発電所が壊されました。水素爆発が起き、厚さ80cmのコンクリートの壁を吹き飛ばして中に溜まった放射性物質がいきなり全部出てしまいました。出てきた目に見えない放射性物質は私たちが住んでいる福島の山や家、田んぼや畑をみんな汚してしまいました。雨や雪とともに空気中に漂っている放射性物質は地面に落ちていきました。

■放射性物質ってなに？どうして危険なの？

放射性物質は右の図の金平糖みたいなもので、目に見えない放射線が出ています。放射線は原発からだけ出てくるのか？そうではなく、実は宇宙からもやってきます。地面からも出て

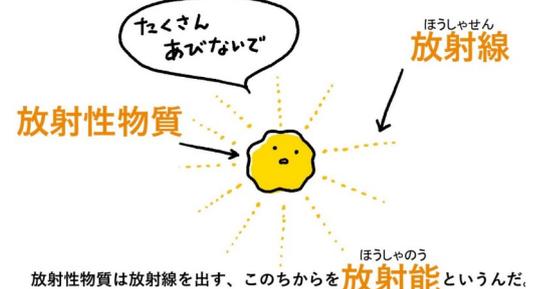
放射性物質はどうして飛んできたの？

平成23年3月11日に発生した大地震と津波によって、福島第一原子力発電所で原子炉がこわれ、大量の放射性物質が漏れ出しました。



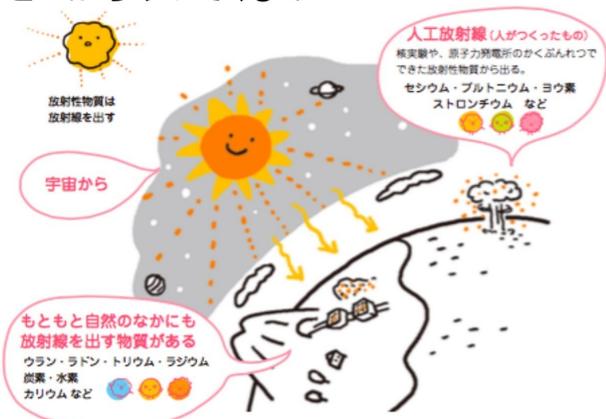
放射性物質は、風の流れて、双葉町、浪江町、飯館村などを通り、二本松市へやってきました。雪や雨の降っていた地域では、放射性物質が雪や雨に落ちて地上に降り、土の表面に残りました。

作・絵 柚木ミサト、監修 木村真三、二本松市教育委員会



きます。そして原子力発電所の中からも出てきます。放射線はもともと自然にあるから気にしなくていいじゃん、と考えるかもしれません。放射線が自然に出ているところでもとても放射能が高いところはやっぱり危険で、今も人が住めなくなっています。日本で住めない地域はほとんどありません。あるのは唯一、福島県の原子力発電所から出てきた放射性物質がたくさん降り注いで溜まったところなんです。そこはまだ帰れない人たちがいます。高いところで、原子力発電所の事故が起きる前の約250倍〜300倍の放射線が出ています。いつになったら帰れるの？という住民の方々の質問に僕は答えるために今も測っています。

げんぱついがいのほうしゃせんは どこからやってくるの？



放射線量の単位



放射線は危険なものなの？

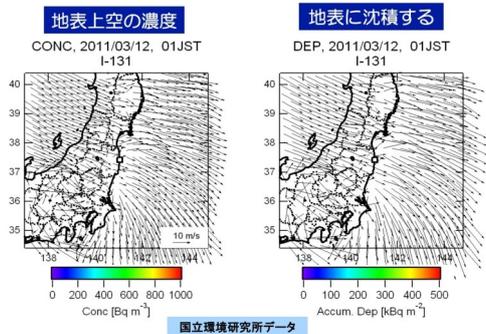
放射線は危険なものです。うまく使えばいいものにもなります。放射性物質にはいろいろな種類があり、寿命もあります。また、放射性物質はホウシャセンパンチ（放射線）を出します。α線を出すもの、β線を出すもの、γを出すものの3つに分けられます。この目に見えない放射線パンチが当たると私たちの身体は病気になるということだけは覚えていてください。

私たちの身体は多くの細胞から作られています。細胞の中にあるDNAに放射線パンチが当たると、DNAが壊れます。でも私たちの体の中には目に見えない小さな大工さんがいて直してくれます。この時に間違えた治し方をしてしまった細胞にがんになる可能性が出てきます。

ヨウ素にはいいものも悪いものもある

ヨウ素には放射線を出すものと出さないものがあります。出さないヨウ素は殺菌作用があつてとても役立ちます。一方、放射線を出すヨウ素は私たちの身体の中に入ってしまうとがんになるかもしれません。でも放射線を出すヨウ素も病気を検査や治療に使うことがあります。だ

ふくしまだいいちげんぱつ はっせい ほうしゃせい そ かくさん
福島第一原発から発生した放射性ヨウ素の拡散



左：時間と共にヨウ素が流れていく様子
右：地面を汚してしまった放射性ヨウ素

から全く悪者かというところではありません。しかし、原子力発電所が出てきたヨウ素は誰も必要としなかった。そんな放射性ヨウ素が事故で降り注いで、それを知らず知らずにみんなが吸い込んで私たちの身体の中で悪さをすることもあったと知っておいてください。

左の図は国立環境研究所が作ったシミュレーションで放射性ヨウ素の流れを示しています。東京まで広がる様子がわかります。福島だけが原子力発電所の事故の影響を受けたわけではなく、日本中に放射性物質が降り注ぎました。

出てきたヨウ素は甲状腺に溜まります。原発事故によって大気中に放出された放射性ヨウ素をたくさん取り込んだ人たちは、知らず知らず



事故処理に使用された
ヘリコプターやクレーン車



上：住民の避難に使用
されたバス
下：救急車



チェルノブイリ原発4号炉（2006年）
原発より300m地点より撮影

36年前の1986年4月26日午前1時23分49秒、世界最大と言われる原子力発電所の事故がありました。チェルノブイリの原発事故では100万kW級の大きな原子力発電所が爆発、炎上して大量の放射性物質が大気中に撒き散らされました。たくさんの土地が汚染され、多くの人が避難しました。多くの人が放射線を浴びて被ばくしてしまいました。原発作業員が暮らしていたプリピャチ市には5万人が住んでいました。この街はとても豊かでしたが、原発事故が起きた翌日すべてをなくすことになりました。3日分の荷物だけを持って逃げて下さいと勧告されたのです。またすぐに戻れると思いき

に甲状腺にヨウ素を溜め込んでしまいました。それががんの原因になります。甲状腺がんはチェルノブイリ原発のあったウクライナや隣国のベラルーシでたくさん見つかっています。日本では福島事故による甲状腺がんがあるかなにか分かっていません。福島には甲状腺がんになった人が約300人います。彼らは原発が原因ではないと言われ、とても辛い思いをしています。

■チェルノブイリ原発事故とは

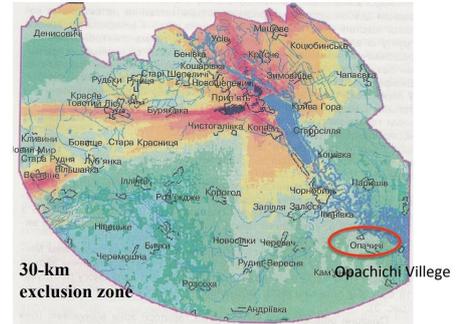
単な服装で避難しましたが、二度と帰れない片道切符でした。一週間後、半径30kmの住民が避難をすることになりました。

■30kmゾーン内の村オパチチ村

僕がよく行くオパチチ村がこの30kmゾーンという立ち入り禁止区域の内側にあります。この村は事故前は681人が暮らしていました。しかし事故で全員が避難しなくてはならなくなりました。でも、避難先には自分の家や土地、畑があるわけでもなく、することがありません。避難ができて、生活必需品は用意されました。彼らに与えられなかったのは生きがいです。生きがいを失った人々は何もすることがなただただ暮らしました。その中で120人は「どうしても帰りたい、放射能がいっぱいあってもすぐ死ぬわけじゃないでしょ、だから私たちは自分たちの生まれ故郷に帰るんだ」と言っていて帰って行きました。その中に僕のお友達となるおばあちゃんがふたりいました。一人は今から四年前、コロナが流行る前に亡くなったという知らせがありました。僕は大体1〜2ヶ月に1回、その地域に入っておばあちゃんたちの食べ物やお薬を運んでいました。おばあちゃんが



オパチチ村は原発から10～27*^{km}に位置し、事故前には681人が暮らしていました。事故後帰還してきた人びとは120人ほどでしたが、多くは老衰などでこの世を去り、現在は0人になってしまいました。



【左】放射能汚染警告と出入りを禁止する標識

【右】罰金を警告する標識

亡くなったと連絡が入ったとき僕はフランスにいました。フランスからすぐに行こうとしたんですが、残念ながら30km圏内で国が立ち入りを制限してるところなので我々は簡単に入ることができません。特別な許可を得るために最速で3日、通常では1週間から10日かかります。そのため、おばあちゃんのお葬式には立ち会うことができなかった。でもおばあちゃんのお墓にはその後ちゃんとしてゆっくりお休み下さいとお祈りを捧げました。

村で一人生き残ったおばあちゃんがありました。

このコロナ禍になってから僕は2年間行けていません。最後に行ったのは2020年の1月です。それからコロナが流行り、戦争が始まってしまいました。そしてオパチチ村では全員死んでしまいました。でもこの人たちは放射能で死んだわけではありません。長い間生活して足滑らして骨を折ってしまい、治らずに寝たきりになって亡くなったおばあちゃん。もう一人のおばあちゃんは原因がわかりませんでした。僕の友達に連絡をしたんですが、戦争になってしまってほとんど連絡が取れません。友だちが2年前に亡くなったとだけ教えてくれました。今は誰もいなくなりました。

■ウクライナで起きていること

このオパチチ村に今はロシア軍が入って、チェルノブイリ原発の中から大量の放射性物質を何も知らされずに取り出して、病気になる、中には亡くなった人もいるという情報が入っています。原子力発電所の周りには放射性物質が大量に残っていて、その保管場所をロシア軍に占領されました。ここにミサイルを撃ち込まれると第2のチェルノブイリとなるぐらい、とても怖い放射線をまき散らすことが起こり得る。そして多くの人が家を奪われ、子供たちまで殺されました。戦争は人を殺すという事実を知ってください。

ソ連軍は核という原子力発電所の燃料を武器として使おうとしています。日本も距離的にロシアに近いので、こういったことが起きないとは限りません。他にも日本とあまり仲の良くない国もあります。日本が武器を持つてしまうと、第二次世界大戦のようなとても嫌な思いをまた周りの国もするかもしれない。日本にも戦争がやってくるかもしれない。核や原子力発電所が戦争に関わってしまったということに皆に考えていただきたいと思います。

●●●● 質疑応答 ●●●●

今回は夏季休暇中の開催ということもあり、多くの子どもたちにも参加していただきました。子どもたちから寄せられた質問を中心に紹介します。

◆宇宙には植物とかはないのに、どうやって放射線が出てくるんですか。

太陽の光にあたるとあたたかい。これは赤外線で、熱を伝えています。全く感じませんが、一緒に放射線も太陽から出ています。太陽から出てくる放射線のほとんどは地球の空気によって遮られるため、地球にはほんのわずかしか届きません。それが宇宙からやってくる放射線だと言われています。

今、未来の発電として核融合反応炉を作ろうとしています。核爆弾は核燃料を強い力で2つに分けるときに出るエネルギーを強い熱として利用します。それと同じことが太陽のなかでも起きていて、太陽ではとても強い重力によって物質と物質が重なり合って違う物質が生まれます。例えば、宇

宙空間を含めて1番簡単な物質は水素です。この水素はもう1つくっつけ合わせるとヘリウムになり性質も変わります。このヘリウムをくっつけ合わせて太陽は光輝いています。こうやって非常に強い重力や100万度ぐらいの温度を30秒間程度維持できるとそこで核融合ができます。核融合で電気を作ろうとしています。光る星は恒星という太陽の仲間で、太陽の数千倍の大きさのものでもあります。大きいものほど重力が強いので、そこで核融合が起きてその時に核融合反応として放射線ができると言われています。

また、巨大な太陽が死を迎えたとき、そこにはブラックホールができます。ブラックホールは自分の光をも吸い込み、ただの穴になります。重力だけが残り、引っ張ってどんどん吸い込んでしまつて光も出てこられない。このブラックホールに吸い込まれるときに、物質と物質がぶつかりあつてそこからX線が出ます。このように宇宙空間ではとても大きなとつものないことが起きて、そこでたくさん放射線が生まれては消えていると考えたらいいかなと思います。

◆宇宙空間からの放射線は害がありますか？

あります。宇宙飛行士はとつものない放射線被ばくをしていると言われています。だから宇宙飛行士には子どもをもう作らないという人になることが多いです。もちろん、最初の頃は放射線の影響がわかつていなかったので若い人も宇宙に行っていました。がんになる確率が高いと言われるレベルを遥かに超えた被ばくをします。でも宇宙に行ったことがある人は非常に少ないので、あまり問題視されていません。

がんではなく白内障の影響は広く出ていると思います。宇宙飛行士だけではなく飛行機のパイロットもそうです。確実に白内障のリスクが上がると言われていて、白内障は労働災害の認定基準に入ったという話もあります。だから若い人たちはあまり飛行機に乗らない方がいいというのが我々専門家の意見です。高度1万メートルを超えるようなところでは地上の3倍の放射線が出ていると言われています。



◆ホウシヤセンパンチはどれくらいでなくなりますか。

ホウシヤセンパンチを出す放射性物質には寿命があり、種類によって異なります。例えば、ヨウ素131は出すホウシヤセンパンチの量が半分に減るのに8日かかりません。最初に10個パンチが出たら、8日経つとパンチは5個になります。また8日経つたら2.5個と減っていきます。ゼロではないけれどほとんどなくなるのが寿命です。悪者のヨウ素だとホウシヤセンパンチは大体2ヶ月くらいで1000分の1になります。

ほうしやせいぶつ こんちゆう たと じゅみょう
放射性物質を昆虫に例えてみると、その寿命は？



セミ

にちかん 7日間 ⇒ ヨウ素131 8日間



クワガタ

ねん 2年くらい ⇒ セシウム134 2年



カブトムシ

はんとし 半年くらい ⇒ セシウム137 30年

©木村真三

◆放射性物質の300種類のうち身体に悪いのは何個ありますか。

300種類全部が身体に悪いです。スイカにはカリウムがたくさん含まれています。このカリウムは100個中1個が放射線を出す放射性カリウムだと言われています。このカリウムは12.7億年の寿命があり、この宇宙ができた時に生まれたと言われています。どんどん減っていますが、今でも放射線が出ています。その出てくる放射線にも害を及ぼされています。当たり前にあるものだから私たちの体が慣れていてというわけではなく、体は傷つけられています。でも量が少ないからそれほどみんな病気になることはありません。

日本人には100歳以上の人がたくさん増えています。放射線は常に浴びているけれどもそれでも生き残っているということはそれほど量ではないということです。でも原発から出てくる悪い放射線、良くない必要でない放射線はたくさん増えました。一度にたくさん入るから悪さをしてしまうんです。

◆レントゲンは放射線を浴びると聞いたことがあります。α線とβ線とγ線のどれですか？

レントゲンはこの3つのどれでもなく、X線というものです。X線は1895年にドイツのヴィルヘルム・コンラート・レントゲンが発見しました。レントゲン博士が全く違う研究をしていたとき、たまたま後ろに写真のフィルムが置いてありました。このフィルムは光が当たると黒くなる写真乾板というガラス板です。レントゲンはその板を置いたまま実験をやっていました。それを現像すると、光が入らないようにしていたのに真っ黒の写真が出来上がった。どうしてだろうと調べたら、目に見えない光が出ていることを突き止めました。この功績により、第1回ノーベル物理学賞を受賞しました。

このX線を使って体の隅々を見ることができ、硬いものと柔らかいものの見分けをつけることもできる。だから骨が折れたら骨が折れたような形が見えるし、胃の中に黒い影があったら胃がんじゃないかなって見つけることができます。レントゲンは放射線だから危険ですが、目に見えないものを目に見えるようにするためには必要なわけです。

◆ DNAと遺伝子は同じものですか？

DNAはデオキシリボ核酸と言って、遺伝情報を持っている物質です。DNAには遺伝情報をもっている部分ともっていない部分が存在し、全部ひっくるめてDNAと言います。その中で本当に大事な遺伝情報はほんの一握りです。100個に2個くらいしか入っていないと言われてます。だからDNAと遺伝子は違います。



◆ 海洋汚染が気になっています。魚介類の汚染は大丈夫ですか。

ALPSというフランス製の濾過装置を使うと57種類の放射性物質を取り除けます。それでも全部が取り除けるわけではありません。それを今度は水で薄めて海に流すことが先日決まっちゃいました。僕は反対です。日本は汚れた水を溜める場所がないから流しますと言っていますが、空いた土地はいっぱいあるんです。でもそれは東京電力の土地じゃないから置いておけな

いんだと言います。もつと使える場所があるなら海を汚さないほうが良いと僕は思います。お酒は薄めて飲めば酔わないでしょうか？そんなことはありません。薄めても量がたくさんあれば酔ってしまいます。だから海に薄めて流すとは今は影響がなくても、何十年か経った後の影響には責任を持っていません。日本がこれをやってしまうと、例えば他の国で原発事故が起きた時に薄めればいんだと後に続いて、日本の真似をしたんだと言われたら日本は悪いお手本になってしまいます。

今、魚介類の汚染はほとんどの場合は大丈夫です。原発から20km圏内では漁業はしていません。そのため、放射能の汚染は広がっていないと考えられていて安全であると言われてます。放射線にはα線β線γ線がありますが、今調べられているのはγ線だけです。β線を出すものは調べましたかと漁業組合の人に質問したら、調べてないと言っていました。本当に安全かどうかはそれも調べないといけないと言っています。γ線は大丈夫でもβ線を出すものの中にはストロンチウムという悪さをするものがあります。ストロンチウムは骨に溜まりやすいという性質がありますが、骨は食べないから

大丈夫だという人たちもいます。あんまり多く取らないから大丈夫なんじゃないかなと思っていても、もしかしたら大丈夫じゃないかなと思ったりはきちんと言わないといけない。科学者だったら責任があると僕は考えています。本当の意味で安全かどうかは漁業関係者にはきついことかもしれません。僕はもう少し慎重に考えていく方がいいのかなと思っています。



右上：久ノ浜漁港（いわき市）



右下：浜通りの海岸線



左上：富岡漁港（富岡町）

◆ 福島の方々の健康被害は報告されていませんが、野生動物にも被害はありますか。

野生動物については、猿の遺伝子異常を調べている人がいますが、まだはっきり異常があるという結果は出ていません。ツバメの背中に白い斑点ができたという報告がありますので、もしかしたら影響があるのかもしれない。他にも、昆虫に影響が出ているという報告があります。でも、それについては昆虫学者も悩んでいるところですよ。

野生動物や昆虫に影響が出る可能性はあります。ちなみに植物では確実に影響が出ており、松の木やモミの木に形態異常が確認されています。



帰還困難区域
(2021年春撮影、浪江町)

◆ なぜ今は原発周辺に人がいないのですか？

目に見えないホウシヤセンパンチが今もいっぱい出ているからです。いっぱい出ているところに人が住むとがんになることがあります。研究をしていると放射線は子どもに非常に悪いものだとわかってきました。子どもだけ違うところに住んでくださいということではできない。危ないところには近づかないようにしましょう、と11年経ったのに福島では今も元の場所に戻れない人が3万人以上います。とても悲しいことが今も起きています。

◆ 汚染水や汚染土を地中深くに埋めることもできるでしょうけど、やらないのは国にとって都合が悪いからでしょうか。先生が今考える最善の方法はありますか。

放射性物質の中にはトリチウムというものがあります。これは放射線を出す水素です。このトリチウムはどうやってもなかなか集められません。いっぱい溜まったものを地中に埋めるのはあまりよくありません。なぜならトリチウムは液体で地下水に混じってしまうため、埋めることはできません。アメリカではコンクリートで固めて永久保管しています。これも1つの方

法です。もう1つはタンクを使う方法です。日本には石油コンビナートという巨大備蓄タンクがあります。これが2つあれば10年間は地下水をためておけるらしいです。10年間から20年間ためている間に新しい技術を開発することは可能なのではないでしょうか。

昨年、福島大学の工学部の先生と地質コンサルタントの研究集団の中で新たな方法が見つかりました。原子力発電所の周りに井戸を11ヶ所掘って、その井戸から水を汲み上げます。原発のデブリに当たらないように先に水を汲み上げてしまいます。何も策を講じていない状況では540トンの水が原発に流れ込むと言われています。現在は遮水壁を作って130トンまで制御しています。でも、井戸を掘って水を汲み出せばなんと1日あたり10トンに減らせます。これが最良だと思います。この方法は発表されていますが、国会議員に取り上げられませんでした。なので僕が知り合いの議員に教えたら、はじめで会合を開いてくれました。ようやくそういう技術があると知らせられたのですが政府は全く聞かずに海洋放出に踏み切ってしまった。僕は国が間違っていると思います、納得していません。

◆ 福島県の甲状腺がん患者が300人ほど出ているということでしたが、調べたから出てきただけだという意見が多く、国連でも原発事故の影響はないという発表がされており憤りを感じています。それが原発事故の影響ではないという根拠が分かりません。福島事故の影響が地理的にあまりなかった県もあります。全国的に子どもたちの甲状腺を調査して、他地域のお子さんとは福島のお子さんの比較をなぜしないのでしょうか。

それは簡単です。都合が悪いからです。私は新潟県が行っている福島第一原子力発電事故における3つの検証委員会で「健康・生活に関する検証」の健康分科会の委員を勤めています。これは、現在、唯一の公的な事故検証委員会です。その会議の席上、新潟県で甲状腺がんの検査を10万人対象におこなって原発由来ではない甲状腺がんの人が少なくとも3人見つかるまで調べれば真の値が出てくると発言し、調査を提案しました。でも新潟県もやりません。お金がかかるからやりませんと言いますが、これは表向きの理由です。実施してしまつたら圧倒的に新潟では発見者数が少なく

なってしまうからです。不都合にならないようにするには調べないのが一番です。国連科学委員会という組織名にはちゃんと枕詞があります。「原子放射線の影響に関する」という言葉がきます。核保有国や核関連技術者のいるたった27カ国からなる委員会です。世界には192の国や地域があります。そのうちのわずか27カ国で決めたことが正しいのかというところではありません。この国連科学委員会では日本人が選んで翻訳作業をして重要なるところを抜粋して委員会に提示しています。だから私が書いた論文は載っていないかたりします。どこで重要性を取り扱っているのか、全部を網羅しているわけではないんです。彼らは自分の都合の悪いことは言いたくないし認めたくない。その中に犠牲者が含まれているのではないかと思つて僕は調べ続けています。

国際社会までもが影響はないと言うのは、核保有国が自分たちの都合の良い言い訳となり得ると考えるからだと思えます。フランスの総合原子力企業アレバ(AREVA)社は、現在は名前が変わっていますが、アルプス(ALPS)を作つた会社です。核開発の技術を使つて事故を矮小化していると考えられます。

◆ 甲状腺がんの発生率は全国と比べたら福島の方が多いのでしょうか。

残念ながら国はそれを調べてくれません。都合の悪いことが見つかったら困るからです。

新潟県にも東京電力管轄の柏崎刈羽原発があります。中越沖地震では爆発しませんでした。が、止まつたままで使われていません。本当に動かしているのか今も話し合いをしています。その僕は委員をやっています。その中で、新潟県で調べたらいかがですかという提案をしたけれど聞きとめてくれませんでした。福島で多いかというと、感覚的に僕は多いと思えます。でもそれを科学的に正しく検証するにはもうちよつと時間がかかります。



わたしたちのからだは、お肉や野菜などのたべものから元気なからだのままでいられるようにエネルギーをつくりだします。このエネルギーをつくる時に、こうじょうせんホルモン(甲状腺ホルモン)とよばれるからだのなかの小さなものでコントロールします。こうじょうせんホルモンは、こうじょうせん(甲状腺)という、のどところにチヨウチヨの形をしたぶんでつくりだされます。この、こうじょうせんホルモンのざいりょうに「ヨウ素」というものが使われます。げんぱつから、出たほうしゃせいぶつつの中に、ほうしゃせんを出す「ヨウ素」がありました。

◆なぜ子どもの方ががんが多いんですか。

子どもの身長はどんどん伸びますが、大人は伸びません。これは子どもだから、大人になろうとして大きくなるうとしていからです。大きくなるうとするときに細胞がどんどん増え、君は背が伸びる。その細胞が増えるときに放射線が当たると病気になるやすいということがわかっています。だから子どもの方が放射線は危ないと言われていきます。

◆甲状腺がんだけで他のがんに対しての保障はないのでしょうか。

子ども被災者支援法という法律があり、今のところ他の癌と放射線の因果関係は認められていません。原爆投下後、広島や長崎では白血病が多発し、因果関係が認められました。今回の福島の場合はそれほど放射線量ではなかったため白血病は出ていません。また、なぜかチェルノブイリでは白血病患者が市民には出ていません。事故処理作業員の中には白血病が出て亡くなった人も実際にいますが、記録が残されていません。こういうこともありますが、福島

では恐らく甲状腺がんのみだったと思います。

ウランやラドンから出るα線が身体に入ると肺がんなどのリスクが上がります。ラドン温泉がありますが、1回や2回入ったくらいではそう簡単にはがんにはなりません。また、ラドン温泉で本物のラドンが出ているところはほとんどありません。

ホウシャセイブツツは すぐには なくなるんだ。

みんなが おとなになっても ずっとずっと きをつけていくんだよ。

これから しっかりホウシャセイブツツのことを ベンキョウをして

どんばしよが あんぜんかきけんか どうしたら

じぶんでも きをつけていくことができるのか もっとわかるようになるんだ。

おとなもこどもも みんなできょうりょくして

カラダとこころをまもっていくこう。



そして ひとつひとつのことが おきないように

ミライをみんなで作っていくこう。

おひまわりはじまり!

作・絵 柚木ミサト
監修 木村真三
二本松市教育委員会

木村真三 (KIMURA SHINZO) 先生 プロフィール

1967年愛媛県生まれ。獨協医科大学准教授、

同学国際協力支援センター国際疫学研究室福島分室室長。

専門は放射線衛生学。

1999年9月に起きた東海村臨界事故に科学技術庁放射線医学総合研究所の研究者として現地に一番先に入り調査を行った。

それを受けて原発事故は日本でも起きると考えを改めチェルノブイリ原発事故研究に着手。現在も被災国であるウクライナへ赴き、ジトーミル州ナロジチ地区の住民の健

康調査に取り組んでいる。さらに、甲状腺がん多発地域であるベラルーシ共和国ではNPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワークの医療検診団で甲状腺患者の調査に取り組んでいる。

また、2011年3月の原発事故直後から、当時の勤めていた厚労省所管の研究所を辞して福島へ入り、被災地の住民とともに放射能汚染の調査を続けており、福島県二本松市放射線アドバイザーとして二本松市小中学校に出前授業も行っている。

新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会健康分科会委員

ウクライナ国立ジトーミル農業生態学大学(現ポレーシエ大学)名誉教授およびウクライナ国立公衆衛生学研究所名誉博士

現在、医療顧問を務めるNPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク内にウクライナ人道支援基金ふくしまキャンプを開設し、避難民受け入れとその生活支援を行なっている。また、ウクライナにも医薬品等を送り、現地への支援も展開中。

ブレスト内分泌診療所移動検診チームの様子

新型コロナウイルス感染症のためにベラルーシを訪問できない期間が続いていますが、ベラルーシでは現在も変わらず移動検診が続けられています。

アルツール先生に現在の移動検診の様子を写真に撮っていただきました。



移動検診車

ベラルーシ共和国ブレスト州立内分泌診療所移動検診チームは月に3回(月曜日から木曜日)、年に36回ブレスト州内の各地を移動検診車(雪だるま3号)で診療しています。日本のように病院がなく、あっても専門的なドクターがいないため、移動検診はがんなどを早期発見するための「前線部隊」としての役割を担っています。

患者数は年間15,000人から20,000人。1986年4月26日チェルノブイリ原発事故当時、胎児を含めて0歳から18歳までのリスクグループを主に診療しています。検診では問診、触診、エコー、細胞診(細胞を採取して染色し、悪性か良性かを診断する)を行っています。がんの疑いがある患者さんはブレスト州立内分泌診療所やブレスト州立病院の診察を受けることになります。



①

検査の準備。

患者さんが、検査の日時を示す受付票を受け取りました。(ソーシャルディスタンス)



②

検診車が、

診察場所に到着しました。



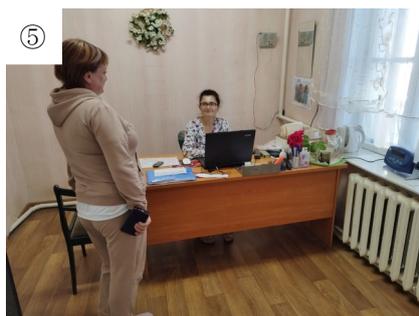
③

機器の設置



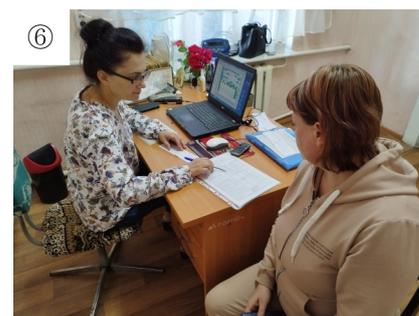
④

検診室の準備ができました。



⑤

患者さんの登録



⑥

既往歴に関する情報収集、書類への記入



⑦ 患者さんの診察



⑧ 患者さんとの対話 説明、進言



⑨ 書類の作成



⑩ 穿刺生体組織検査のための
文書の準備



⑪ 穿刺生体組織検査前の血圧測定



⑫ 甲状腺の穿刺生体組織検査



ブレスト内分泌診療所に新しい超音波診断装置を！

検診に重要なエコーは10年以上フル稼働し老朽化が進み、エコー像を読み取るのも難しい状況となっています。甲状腺がんの早期発見・早期治療が期待できる移動検診は患者の皆様やご家族にとって非常に重要なものです。精度の高い検診を続けるためにも新しい超音波診断装置が必要です。

現在、2台の超音波診断装置を購入・設置を予定しています。
装置は1台110万円～130万円です。ベラルーシの人々が安心して暮らすことができるよう、早めにお送りしたいと思います。



◆活動報告◆

ウクライナ・ジャーナリスト
報告会に参加しました。

グリーンコープ共同体の「2022年ウクライナ緊急支援募金」を通し、お二人のウクライナ・ジャーナリストの報告会に参加させていただきました。

報告会は4会場（福岡市、広島市、長崎市、熊本市）で開催され、ウクライナの現状をわかりやすく写真を交えながら語っていただきました。思うことはただ一つ。早く解決を願うばかりです。



右：慈善団体 ジャーナリスト・
イニシアチブ会長

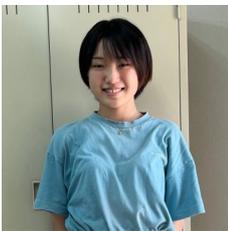
リュドミラ・メーヒさん

左：ウクライナ全国記者連盟委員

セルヒイ・シェフチェンコさん

事務局インターンのご紹介

8～9月までの2か月ドットジェイピーによる「NPOインターンシップ」を活用し、事務局インターンとして活動に参加しています。



鹿児島大学農学部
食料生命科学科2年
上杉多笑さん

インターンシップをさせて頂いている上杉多笑です。

ドットジェイピーのスタッフの友人に声をかけられ、この夏何もしないのももったいないと思い、インターンへの参加を決めました。専攻は農学なのですが、医療分野にも通ずる部分もあり、また、私自身も医療系に興味があることもあって、チェルノブイリ医療支援ネットワークさんでのインターンを選ばせて頂きました。原発の事故が現地の人達にどのような影響を与えたのか、これから私達ができることは何かをこのインターンを通して学んでいけたらいいと考えています。よろしくお願いします。



福岡大学商学部2年
古賀伊織さん

ボランティアをさせて頂いている古賀伊織です。

ボランティアには前から参加したいと思っていたので、今回身内の紹介がきっかけでチェルノブイリ医療支援ネットワークさんに参加させて頂くことになりました。原発、放射線についての知識は乏しく、恥ずかしながらボランティアに参加するまで今のベラルーシ、福島の実状についてを全く知りませんでした。しかし、私だけでなく多くの人がそうだと思います。報道されることが少なくなった=解決したということではありません。電力不足で原発再稼働の声が高まっている今こそ、原発事故の被害を受けた地域の現状を知る必要があるのではないかと思います。私にできることはあるかをこのボランティア活動中、またその後も考えていきたいです。



古本募金 きしゃぽん

ご支援・ご協力をありがとうございます！

読み終えた本やCDなどで募金ができる「古本募金きしゃぽん」を通じて、たくさんのご寄付をお寄せいただいております。誠にありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします！

《 これまでにお寄せいただいた寄付額 》

◆◆1,196,671円(396名)◆◆

- ◆2017年1月～12月 78,612円 (35名)
- ◆2018年1月～12月 139,795円 (70名)
- ◆2019年1月～12月 403,362円 (97名)
- ◆2020年1月～12月 188,378円 (88名)
- ◆2021年1月～12月 292,268円 (80名)
- ◆2022年1月～7月 94,256円 (26名)

あなたのご自宅や職場に眠るお宝が
チェルノブイリ支援につながります



その他、懐かしのおもちゃ、プリキ玩具(昭和40年代以前のもの)、フィギュア、プラモデル、鉄道模型、洋酒、テレホンカード、商品券、切手、ハガキ、年賀状、カメラレンズ、模型、絵画、万年筆など…

クレジットカード決済・シンカブルのご案内

Syncable

クレジットカードで寄付ができる“Syncable(シンカブル)”を導入しています。

チェルノブイリ医療支援ネットワークのホームページや右のQRコードからアクセ

スが可能です。

お手持ちの端末でお読み取りください



お知らせ 福島へ行ってきます

福島の今を取材するため、9月に

福島県を訪問予定です。避難指示

が解除された特定復興再生拠点区域

(葛尾村、大熊町、双葉町)や、帰還困

難区域(相馬郡飯館村長泥地区、双葉

郡浪江町津島地区)近隣の取材を予

定しています。

訪問の詳細は「チェルノブイリ通信」2

9号」に掲載予定です。どうぞお

楽しみに！

《日程》

9月3日(土)～9月8日(木)

《参加予定者》

CMNスタッフ2名

ボランティア大学生3名

《訪問地域》

双葉郡(浪江町、双葉町、

大熊町、富岡町、葛尾村)、

相馬郡飯館村、二本松市、

南相馬市、会津若松市

たくさんのご支援を ありがとうございます

(順不同・敬称略)

合計	12,888,298円
*活動支援金	9,460,443円
*のぞみ21カンパ	3,000円
*雪だるま3号カンパ	0円
*東日本支援カンパ	19,000円
*おまかせカンパ	5,000円
*ウクライナカンパ	3,395,541円

(2022年5月～2022年7月分の寄付内訳)

●口座受付寄付

榎本みつ枝 梶原孝子 金只律子 川辺希和子 佐々木悦子
田中直子 種和子 鳥取真悟 中村幸枝 古本募金きしゃぼ
ん(運営:嵯峨野株式会社) 本田美穂子 三浦海岸教会 村
上和代

〔都道府県別〕

【北海道】	1名	【秋田県】	1名	【山形県】	2名
【福島県】	9名	【東京都】	6名	【神奈川県】	1名
【千葉県】	2名	【栃木県】	1名	【福井県】	2名
【石川県】	2名	【新潟県】	5名	【静岡県】	1名
【愛知県】	3名	【大阪府】	1名	【鳥取県】	1名
【島根県】	2名	【山口県】	1名	【高知県】	1名
【愛媛県】	14名	【福岡県】	20名	【佐賀県】	1名
【長崎県】	1名	【熊本県】	3名	【大分県】	3名
【宮崎県】	2名	【鹿児島県】	6名		

計98名(匿名含む)

●月々の定額寄付(マンスリーサポーターの皆さま)

相羽美香子 磯道綾子 一瀬和美 伊藤利恵 稲田照子 井
上礼子 内野千鶴子 江原健一 延壽富美 大麻卓子 大久
保伸子 大崎知恵 太田昌子 大場満 小黒慈子 落石久子
片山富美子 金山涼子 紙森優子 亀川早苗 河上雅夫 川
崎君子 川尻愛子 木村雅子 倉掛大輔 古賀輝洋 古賀尚
子 財津耐代子 財津悠子 斉藤美代子 阪口香奈子 佐々
野也依 佐藤一江 佐藤進一 佐藤照子 白浜千恵子 末永
浩子 首藤展子 高山知佐子 竹田恵子 武田孝子 田中京
子 珍部千鳥 土持秀男・由利子・朱加 網脇牧子 富永隆史
鳥井原桐子 鳥原良子 永尾ゆかり 中島幸代 中島まゆみ
永野沙智子 西首延子 丹羽道代 納富育代 深川哲臣 福
井初子 福本勅子 藤本孝子 瀧田三輝 古川恵子 松尾智
恵子 松木幸美 松永庸子 丸山子より 水本敬子 三野桂
子 宮野義治 村西美由紀 室屋芳乃 山下澄子 山中陽子
山本亮輔 吉田美抄子 渡邊久美子

計108名(匿名含む)

貴重なご寄付をお寄せいただき、ありがとうございます。皆
様よりお預かりしたご寄付は、チエルノブイリ被災者医療支
援、福祉工房のぞみ21支援、東日本震災被災者支援、事務
費用等にあってさせていただきます。
※通信(のお名前掲載をご承諾いただいた方のみ)のご掲載して
おります。

皆さまからのメッセージ(一部抜粋)

●少しですが、いつも応援しています。●少しですが、
覚えてお祈りしています。●チエルノブイリ原発の医
療支援に。●ウクライナ、一刻も早い停戦を願いま
す。●いつもお世話になっております。有機栽培のお
いしいコーヒー紅茶、ありがとうございます。●一人
では何にもできませんが仲立ちをして下さるお陰でさ
さやかな応援ができて嬉しいです。●Q&A集、勉強
になりました。感謝です。●大変ですが頑張って下さ
い。応援しています。日本で楽しく過ごせますよう
に。

お知らせとお願い

振込

用紙は原則として毎号同
封しています。これは「思い
立った時にいつでも振り込みできるよう
に、毎号同封してほしい」というご要望が
あったからです。決してお振込を強要する
ものではありません。恐れ入りますが、ご
不要な方は処分をお願いいたします。

編集後記

今年の福岡は暑く連日の猛暑日でした
が、お盆が過ぎ、朝晩は少しずつ涼しく
なってきました。夜のランニング中に道
端の茂みから虫の鳴く声が聞こえ、秋の
訪れを感じる今日この頃です。(K.T.)